

宗内寺院紹介 **21**

清林山
佛乘院
金藏寺



金藏寺は平安時代、第五十六代清和天皇の御代（八五八〜八七六）に、第五代天台座主智証大師円珍が東国教化の途中で当地に立ち寄り、地形が比叡山に似ることを機縁として一字を建立したのに始まる名刹である。

円珍はさらに自ら大聖不動明王の御尊像を刻んで中心となる堂に安置し、比叡山と同じく日吉社（山王社）を勧請してその鎮護となした。「日吉」という当地の地名も、円珍が勧請した日吉社に因むという。生まれ故郷である讃岐国金藏郷の名から金藏寺としたと伝えられている。

古来「東三井寺」と称され、鎮護国家祈願の勅願寺であった。また塔頭二十三軒を有する、修験者の一大安居道場でもあった。

江戸に幕府が開かれると、徳川三代将軍家光公より五十五石の御朱印を賜り、関東の檀林寺に指定され、末寺五十二ヶ寺を統轄する中本山として栄えた。当山第二十八世広海が文化元年（一八〇四）に本堂を再建。間口が十一間、奥行九間半の大建築で、現在もその威容を誇っている。

清林山
佛乘院

金藏寺

住所／〒223-0062 横浜市港北区日吉本町2-41-2
電話番号／045-561-2037